



# ぎおんぼら

目指す児童像

- 健康で明るい子（たくましく）
- 進んで学ぶ子（かしこく）
- 心の豊かな子（なかよく）

令和3年2月2日発行

発行者：秋山 貴子

令和3年、新年を迎えたばかりとと思っているうちに、もう2月に入りました。これから3月までは、今年度のまとめであり、来年度への準備期間でもあります。1年生は2年生0学期、2年生は3年生0学期…5年生は6年生0学期。それぞれの学年にとって大切な期間です。特に、6年生は、中学準備期間です。中学生0学期でもあります。小学校生活も残り2か月、有意義に過ごして欲しいです。

## 学校教育診断の結果について

11月に実施した「学校教育診断」の結果をお知らせします。この結果と、教職員による学校評価の結果をもとに、来年度の改善策を検討しました。学校運営協議会においても委員の皆さまからご意見をいただきました。保護者の皆様には、お忙しい中、アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

回収率	児童：99.7%	保護者：93.8%
達成度	$\{(Aの回答数 \times 3 + Bの回答数 \times 2 + Cの回答数 \times 1 + Dの回答数 \times 0) \div (回答数 \times 3)\} \times 100$	
	A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない	

### ①子どもは、学校で楽しく、安心して過ごしている。

児童、保護者とも、昨年同様良好な結果でした。児童にとって学校が楽しいかどうかは、友達とうまくいっているかどうかの影響しているようです。また、今年度は年度初めに新型コロナウイルス感染症対策により臨時休校や分散登校が実施されました。学校に普通に通学できることが、幸せだと感じた児童・保護者が多いようです。C、D評価の児童に対しても個別の働きかけを通して、少しでも改善が図られるよう努めて参ります。

R2	A	B	C	D	達成度	R1
児童	230	94	15	9	85.5	84.4
保護者	220	80	12	0	88.9	88.3

### ②子どもは、学校でいろいろできるようになったことで、自信をもって過ごしている。

児童、保護者ともには、昨年度より約4%上がりました。教師や保護者、友達からの受容や称賛が成就感・達成感につながり、自己肯定感を高めることになります。子どもたち同士がほめ合い認めあえる環境づくりにこれからも努めます。また、児童が活躍できる場を多く設けたり、頑張ったことを目に見える形に示したりするようにしていきます。

R2	A	B	C	D	達成度	R1
児童	201	107	25	5	83.0	79.8
保護者	176	124	11	0	84.4	80.1

### ③学校は、子どもが明るく元気に活動できる、望ましい教育環境づくりを行っている。

児童・保護者とも少し上がりました。新型コロナウイルス感染症対策として業間休みを学年別にすることで児童からは「校庭が広く使える。」などの意見もあります。また、今年度は、縦割り活動などの異年齢集団活動を減少させてきました。今後は、状況を鑑みながら、安全に児童が充実した活動ができるよう、よりよい環境づくりに努めて参ります。

R2	A	B	C	D	達成度	R1
児童	241	83	11	3	88.8	87.9
保護者	193	109	9	0	86.4	83.6

### ④教師は、子どもの話をよく聞いて、指導している。

児童・保護者とも昨年と同じおじょうな結果でした。悩みや困り感を抱えていながら相談できない児童を把握し、教師側から声を掛ける必要性を感じます。これからも、日頃から子どもを受容や共感する姿勢で、安心感を与える雰囲気づくりに努めて参ります。また、教育相談等の充実を図っていきます。

R2	A	B	C	D	達成度	R1
児童	237	87	9	5	88.2	90.2
保護者	210	92	8	0	88.1	88.0

**⑤教師は、学習内容が子どもによく分かるように、熱心に授業をしている。**

児童・保護者とも概ね良好な結果でした。「分かりやすく丁寧に教えてくれる。」といった意見が多数ありました。本校の児童は、学習意欲が高く、課題に対して一生懸命取り組む児童がたくさんいます。今後も、基礎的・基本的な内容の定着はもちろん、引き続き、「主体的、対話的で深い学び」をキーワードにした指導法の工夫・改善に努めて参ります。

R2	A	B	C	D	達成度	R1
児童	258	70	7	3	90.8	91.9
保護者	210	92	5	3	88.1	84.4

**⑥教師は、「やるべきこと」や「やってはいけないこと」など、人として大切なことを子どもに指導している。**

児童・保護者とも、例年同様良好な結果でした。「当たり前前のを当たり前にする」を合い言葉に、長年ぶれずに指導している成果と言えます。自分自身で正しく判断し行動することができるよう、今後も、毅然とした指導、心を育てる指導に努めて参ります。

R2	A	B	C	D	達成度	R1
児童	292	35	9	2	94.2	94.7
保護者	232	70	9	0	90.6	87.8

**⑦教師は、子どもの「よいところ」や「努力したこと」を適切に認めている。**

児童・保護者とも、良好な結果でした。人は誰しも承認欲求をもっています。それが満たされたとき、自分への自信や、さらに良くなろうという意欲が湧くものです。今後も、その子自身が持っている良さや努力の過程、その子なりの成長に目を向け、認めていきたいと思えます。

R2	A	B	C	D	達成度	R1
児童	246	75	10	7	88.6	89.8
保護者	214	88	7	2	88.4	85.8

**⑧お子さんは、あいさつや返事がよくできる。**

児童の結果は、昨年度より少し上がりましたが、児童と保護者との差が見られます。コロナ禍で、大きな声で挨拶できない状況でしたが、学校では会釈によるあいさつも指導してきました。地域の方に丁寧なあいさつをする児童もいると聞いています。挨拶と返事をいつでも当たり前に行えるよう、ご家庭と一緒に指導していきたいと思えます。

R2	A	B	C	D	達成度	R1
児童	184	112	35	7	80.0	75.7
保護者	117	151	41	1	71.1	71.1

**⑨お子さんは、相手の気持ちを思いやり、助け合うことができる。**

児童の結果は約6%上がりました。「豊かな心」を育む教育の推進を図っています。誰とでも仲良く活動できるような機会を増やしていきます。新型コロナウイルス感染症に対する差別や偏見に負けない心を育てることも含めて、大人が相手を思いやる様子を示さなければと思っています。

R2	A	B	C	D	達成度	R1
児童	219	98	19	2	86.0	80.1
保護者	151	145	13	1	81.3	80.0

**⑩お子さんは、やらなければならないことは最後まで頑張ることができる。**

今年度も、児童と保護者との差が見られます。昨年同様、AとBの割合が顕著です。児童はやっていると思っているのに、保護者はそう捉えていないようです。やらなければならないことの捉え方が保護者と児童では違っているのかもしれませんが、小さなことでも最後まで頑張る姿が見られた際には、教師はほめていくようにしています。

R2	A	B	C	D	達成度	R1
児童	227	92	13	6	86.6	83.2
保護者	140	144	25	2	78.6	76.9

**⑪学校は、適切な教育方針を立て教育活動を進めている。**

R2	A	B	C	D	達成度	R1
保護者	157	83	4	2	86.9	85.0

**⑫懇談会や祇園小だより、学校ホームページ等を通して、情報提供が適切に行われている。**

R2	A	B	C	D	達成度	R1
保護者	155	84	6	1	86.6	85.8

**⑬子どもの成長のために、学校と保護者・地域が協力し合っている。**

R2	A	B	C	D	達成度	R1
保護者	148	92	6	0	85.9	84.2

本校の教育方針については、国や県、市の動向を踏まえ、児童の実態に基づいて立案しております。今回のアンケート結果や教職員による自己評価をもとに、よいところはもっとよく、課題については充実・改善していきたいと思えます。また、保護者や地域の皆様にもっと学校のことを知っていただけるよう学校だよりの自治会回覧やHPの充実等の取組を今後も続けて参ります。

全ての児童が安心して楽しく学べる学校になるよう、全教職員で教育に勤しんでいきます。